

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 船橋市立葛飾中学校 ] 担当教諭名 [ 杉田 茜 ] ( 美術部 15名 )

相手国・地域 [ オランダ ]

海外学校名 [ Meander College ] 担当教諭名 [ Bertus Bakker ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	美術部	部活動	45

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDGs Goal 13 気候変動に具体的な対策を SDGs Goal 14 海の豊かさを守ろう SDGs Goal 15 陸の豊かさを守ろう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自然豊かな地球を守りながら、持続可能な開発を進めていくためには、この先の未来をどう作っていけばよいだろうか？



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
地球規模の環境問題について、自分たちの国だけのことを考えているだけでは、解決できない。全く文化の違うヨーロッパの学校の生徒の様子や学校の様子を動画で感じることができた。言葉や文化が違う相手と、同じ目標について考えることで、共通の課題意識が芽生えた。	コロナの影響を受けて、活動が止まってしまうことがあった。学校事情により、教育課程内の授業では取り組むことができないため、現状では部活動の時間で取り組んでいるが、どうしても部活動の中で進めていくには、時間的にも指導するにも限界があった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ヨーロッパの地理的には遠い距離にあるオランダとの歴史的なつながりや、オランダ発祥のキャラクターや料理などの文化を調べることで、相手の国のことを身近に感じることができた。また、同年代の生徒と交流をすることで、国や文化や言葉が違っても共通した課題に向けて協働し、成長できることを実感していた。	コロナウイルス感染拡大と壁画制作が同時進行だったため、地球規模の課題に同時期に立ち向かい、コミュニケーションを取りながら壁画の制作をすることの難しさを感じた。しかし、共通の課題にお互いが向き合うことで、難しい現状でも少しずつ前進できることを実感できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	4月 5月	動画を通じてお互いの自己紹介や普通の活動の紹介、学校紹介を行った。	動画を制作し自己紹介や学校紹介をすることで、お互いの生徒や学校の雰囲気によりリアルに伝わった。写真だけで自己紹介をするよりも、多くの情報が伝わった。	部活動
共有 テーマ学習	6月 ～ 8月	共通に感じているテーマを『環境問題』とすることで確認し、それぞれ調べ学習を進めた。調べたことをイラストにまとめ、未来の地球がどうなったらよいかを考えた。	SDGsのGoal13・14・15 をヒントに、自国の環境問題や地球規模の環境問題について調べた。現状だけでなく、どうなるとより良い未来になるかを考え絵にしてお互い伝え合った。	部活動
融合 メッセージ作成	9月 10月	共通して調べた課題や未来の地球の姿を絵に描き、お互いのイメージを確認した。地球を中心に描き、周りに守っていききたい美しい地球の姿を描くことで進めた。	イメージを絵に描くことで、言語を超えたコミュニケーションをすることができた。絵にどのような想いを込めたかを言葉で伝えることで、考えが整理された。	部活動
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	未来の地球の姿を描いたイラストを壁画に再構成し、年内に壁画を完成させることを目標に進めた。役割分担をすることで、チームで進めていった。	壁画を完成させるという目標に向けて、熱心に活動する様子が見られた。フォーラムを通じてお互いの制作の様子を見られると、モチベーションが高まった。	部活動
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	環境問題について、テーマ設定についてなど、全体の振り返り活動をした。オリジナルの活動レポートを作成した。	相手国に壁画が届き、自分たちが描いた壁画の続きを描く様子が伝わってきたことで、自分たちの想いが届いたような気持ちになり、やりがいを感じている生徒がいた。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	相手の国を知ることで、相手のことを理解しようとする姿勢が身についた。日本の中のオランダ文化を見つける活動や、オランダの生徒が日本にどれくらい関心があるのか動画を通じて感じる事ができた。生徒たちが相手の国や文化に興味をもつことができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	環境問題について、お互いの国での課題解決に向けての取り組みを調べ、伝えることはできたが、批判的に考えたり客観的・論理的に考えたりするところまで到達することはできなかった。
主体的に考え行動する力	4	課題を自分事と捉え、課題解決に向けて行動するためにどうすればよいかを自ら考え、自分たちにできることに取り組むことはできた。ただ、生徒にできることや教員側のサポート面でも、できることに限りがあった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	コロナウイルスの感染拡大により校務との両立が難しく、コミュニケーションを取ることができなかった期間が生じてしまった。しかし、限られた中でも、できることに精一杯取り組むことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	話し合い活動だけでなく、アイデアや考えを絵にしてコミュニケーションを取る方法でも想いを伝えることができることを、アートマイルの活動を通じて実感することができた。